

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぴ			
○保護者評価実施期間	R7年1月5日		～	R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	42
○従業者評価実施期間	R7年1月5日		～	R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月5日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団での療育活動を展開している。大人との関係作り→友だちとの関係作り→小さな集団で遊びや気持ちを共有する体験ができることを大切にしている。 巧技台等で体を使った遊びや地域の公園でダイナミックな遊びを展開し、遊べる体づくりを応援している。	活動の内容や目的、準備について会議日を設け、なるべく多くの職員で共有している。 研修や講演会等へ積極的に参加することで刺激をもらい自事業所に活かしている。	個別のケース検討をする機会が少ないため、計画的に行いたい。 子どもの発達を学ぶことで遊びや活動の狙いをさらに深め、レパートリーを増やしていきたい。
2	単独通園のクラスも概ね月1回、親子の日を設け、すてっぴでの姿やスタッフの関りを見てもらい子どもの姿を共有するようにしている。	直接、保護者に見てもらい参加してもらうことで事業所の透明化となり、スタッフも緊張感と責任感、専門性を意識できる。	他の事業所の見学や研修等を重ねながら、より良いものにしていきたい。
3	連絡帳、公式LINE、親子の日での保護者懇談会、個別懇談などを通して、保護者とコミュニケーションを大切にしていること。	懇談会や個別懇談、つうしんの発行などを通して、保護者と子どもの理解に努めている。	HPやSNSなどを活用した情報発信。 個別支援計画等の作成における知識とスキル向上。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について。	各種マニュアルを策定し、定期的な避難訓練を実施したりしているが、定期的な見直しと情報発信については改善が必要と感じている。	つうしん等での発信や保護者懇談会等で伝えていく。 各種マニュアルの定期的な見直しを行い、マニュアルを基にした訓練を継続していく。
2	ペアレントトレーニングについて。	保護者懇談会、就学説明会は毎年、行っているが、ペアレントトレーニングはまだ未実施である。	研修等へ参加し、事業所として学んでいく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援すてっぴ						公表日	R7年 2月 28日			
						利用児童数	50				
								回収数	42		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	1			<ul style="list-style-type: none"> ・園庭は狭いが、散歩で公園までよく連れて行ってくれるので、有難い。 ・活動に応じて工夫されている。 	基準は満たしていますが、屋内や園庭の広さには限りがあります。工夫しながら対応していきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・必ず先生が子どもにどんな時もついてくれているので、安心出来る。 ・他の事業所と比べても多い。 	職員配置は基準を満たしています。今後も研修等へ積極的に参加していくなど質の向上に努めていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・イラストで分かりやすく示していたり、衝突防止対策もしている。 	危険と思われる箇所については引き続き修繕や工夫をしていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきれいにしている。 				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの今したいことが伸び伸びと出ており、能力を活かしているように思う。 ・子供が好きな物に対して対応してくれたり、見守り、声掛けのタイミングなどを考えてくれている。 ・特性に応じて個々に支援して下さっている。 	保護者の方からも情報をいただき、子どもの状況を見て、課題ややりたいことは何かを理解したうえで関わりを持つように心掛けています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと合っている。 				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・子どものことを本当に良く見て下さり、作成、支援もして下さっている。 				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・十分されていて満足している。 	利用開始前に、保護者の方からお話を伺い、また、お子さんの様子を確認した上で、計画作成を行っています。その後、スタッフ全体で活動の狙い・意図をシェアしていきいます。また、お便り等でもお伝えできればと考えています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・良く支援して下さい。 				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1			<ul style="list-style-type: none"> ・年齢幅の大きいクラスのため、内容に物足りなさを感じる時もあるが、それも事前に説明があり、理解したうえなので不満はない。 ・いろんな活動、体験をしてくれている。 	日々の振り返りにを元に、毎月、会議を設け、活動プログラムを立てています。今後も、スタッフ全体で活動の狙い・意図をシェアしていきいます。また、お便り等でもお伝えできればと考えています。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	3	2	15	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の子どもと活動する機会はないが、子どもが所属している保育所と連携をとってくれるので大変ありがたい。 	併行通園のお子さんが大半ですので、現状では考えていません。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり説明して下さい。 	利用開始前の説明会・契約の際に、説明をさせて頂いています。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・満足です。 				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	37	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・満足です。 	ご相談がある際は、職員が対応させていただいていますが、ペアレントトレーニングとしては行っていません。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳で日々の様子が分かるので助かっている。 ・優しく安心して任せているし、子どもが楽しそうにしているのが1番です。 ・毎回、子どもの様子について声をかけてくるので、相談しやすい。 	連絡帳を活用し、日々の様子をお伝えしています。保護者の方からの連絡や相談等の発信が少しでもしやすいように公式LINEも活用しています。保護者の方のお気持ちに沿えるよう、今後もいろいろなお話を聞いていけたらと思います。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・面談以外でもすぐに対応して下さい。 	毎月行っている親子の日では、日々の様子をみていただくだけでなく、保護者同士で話ができる時間も設けています。兄弟同士の交流機会については、まだ開催できていないので、検討をしていきます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・十分して下さい。 				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	3	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・兄弟同士の交流の機会がなかった。 ・兄弟同士の交流が未実地かと思う。 ・保護者同士の交流があり、他のご家族の取り組みが聞けるので参考になる。 ・毎月、保護者同士の交流する場を設けて下さり心強い。 					

保護者への説明等	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも相談させて頂き、有難い。 ・迅速に丁寧に対応して下さい助かっている。 	ご相談がありましたら、なるべく早く対応できるようにしております。管理者、児童発達支援管理責任者、クラス担当が対応させていただきますが、どの職員でもご相談に対応できるよう、情報共有を図ってまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・専用のLINEで連絡ができるので、共働きの身としては大変有難い。 ・毎月して下さいます。 	毎月に「つうしん」という名の会報を準備し、活動内容や行事についてお伝えをしています。自己評価の結果については、ホームページに記載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	2			<ul style="list-style-type: none"> ・面談を活動している教室で行うので、聞こえてしまうことがあった。 	個人情報の取り扱いについては、利用開始前に確認・同意を頂いております。ホームページや広報誌へ写真を載せる場合、改めて保護者様に確認した上で掲載しています。親子通園（2歳児）の際に、子どもの安心感を保障する目的で、療育の場や懇談をするケースがあるが、ご指摘を頂いたように情報が聞こえてしまうことが多いにあり得ます。今後の検討課題とさせていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35			7		消火器及び火災報知機の点検は定期的に変更しておりますが、マニュアルについては利用開始前に、書面にて説明をさせて頂いております。感染症の予防については、日常的に衛生管理を行っております。引き続き、対応をまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31			11		災害時を想定した避難訓練は、現在、単独のみ行っております。「つうしん」等でお伝えできていないクラスもあり失礼いたしました。今後も継続して訓練等を行い、保護者の皆さんにもお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37			5		危険箇所への対策をおこなった上で、職員人数及び配置を考えて、今後も子どもの安全を確保するよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40			2	<ul style="list-style-type: none"> ・ぶつかった時などでも報告してくれる。 	事故はもろろんのこと、怪我が大きい小さいに関わらず、直接またはTELなどで出来るだけその日のうちに経過を含めてお伝えするようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・子どものタイミングで遊んでくれるので、子どもが先生方を信頼していると感じている。 ・先生方をとても信頼しており、不安などなく通所しています。 	保護者の皆さんにとって安心してお子さんを預けていただける事業所を目指すと共に、子ども自身が生活の主人公として自分に手助けを感じられるように今後も努力してまいります。「楽しかった」「また行きたい」と、子どもの気持ちが前向きになるように、支援の充実を図っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・すてっぷへ通える日はいつも朝の支度も自分でしっかりして楽しみにしています。 ・「今日はすてっぷの日」と聞いてくるくらい楽しみにしている。 ・楽しみにしていて、利用日は朝起きるのが早い。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	42				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも色々な成長がみられるようになり、親自身も成長させてもらえる場です。 ・満足しています。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 すてっぴ				公表日	R7年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	パーティションで仕切り、空間分けをしている。状況によっては、園庭なども利用してスペースを広げる。	部屋がワンフロアのため、生活と活動の場が同じ空間となる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	次月の勤務及び公休希望時に管理職が強要することなく、職員それぞれが配慮している。特にパート職員の協力を助けられている。	基準を満たしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	一部シャッターを閉めて対応やパーティションなどを活用している。	・ガラス面が多く明るいという利点はあるが、光が入り過ぎる面もある。 ・ワンフロアのため、音が響く。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	・毎日、朝・昼・夕、掃除の際は次亜塩素酸ナトリウムを用いて清掃をしている。 ・感染症対策を含めて、適宜換気窓にて換気をおこなっている。 ・パーティションにより空間分けをしている。	・ガラス面が多く光が入り過ぎる件については、シャッターを途中まで下げる、パーティションを置いて過剰な光を避ける対応はしている。 ・ワンフロアのため、状況によっては、空間分けが必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	・状況によっては、個別の対応を必要と考える。パーティションにより個別空間を設置したり、園庭などを利用して対応をしている。	個室としての部屋は設定されていない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・個々の職員とは半期ごとに行っている。 ・日々の小さな気付きは毎日の振り返りでやっている。 ・業務全体の検討やケースの検討等は職員会議の際に行い、なるべく全員が参加できるようにしている。	日々の振り返りにしても、職員会議にしてもその場に参加できていない職員に対して細やかな伝達を心掛けていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	法人のホームページで公開している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎日の振り返りの際に意見を出し合っている。 ・職員会議でも話し合いをおこない、業務改善に努めている。	若い職員が、もっと気軽に意見を出せる環境が必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	課題に対して適任者を招き、アドバイスを頂いている。	第三者機関等の外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・オンラインの研修を含め参加をしている。地域の児童発達支援センター主催の研修会等へは極力参加している。 ・新版K式発達検査の講習参加など、今後も職員の資質向上のため、研修参加を促す。 ・研修受講の指示もあるが、自主参加研修にたいしても配慮されている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	日々の活動の中で、子どもの姿を確認している。また、保護者より聞き取り等をした上で計画作成を行っている。半期ごとにモニタリングを行い、計画の変更をしている。	公表は、今年度中に行う。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	全職員が日々の活動の中で子どもの姿を確認し、記録を残しているものを基に検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	発達検査、知能検査をおこない、子どもの理解へと繋げている。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」として、子どもの発達に応じた活動や遊びの計画を立てて実施。発達検査、知能検査を行い、保護者と一緒に子どもの理解を深めている。また、就学に際して具体的な助言を行っている。 ・「家族支援」として、子どもの相談支援に加え、兄弟児への相談や支援（親子教室へ一緒に参加）、緊急の送迎援助等、個々の状況に応じてを行っている。 ・「地域支援・地域連携」として、保幼等や学校との連携、事業所や保健師等と連携を行い、子どもや家族の支援を行っている。 以上のことを計画に盛り込み、計画やモニタリングでの相談時に説明している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、活動プログラムを立てる会議を行っている。加えて、より実践的な内容へと落とし込むための会議も毎月行い、相互理解を深めている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定番の活動もあるが、グループの様子を確認し、その都度変化を入れながらプログラムを提供している。 ・研修や他事業所の見学を通して、新たな活動や修正を行っている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人へ焦点をあてつつも、集団活動を意識したものとしている。また、日々の振り返りや会議で出た意見を活動・計画へ反映できるようにしている。 ・同じ活動でもクラスや子どもの姿に応じて調整している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎朝の朝礼の際に事務連絡・利用児の確認・活動内容・職員の役割などを確認。また、終礼時にも翌日の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日、支援終了後に必ず振り返りの時間を取り、職員間で共有している。また、記録を取り休みの職員も確認をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援終了後の振り返りは記録を取りながら行っている。支援の検証・改善へつなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半期に一度、定期的に見直しを行っている。職員間でケースの振り返りや支援のポイントを確認している。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	必要な連携は適宜行っている。こちらからも必要だと感じた際は、会議開催を依頼している。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	体制を整え必要に応じて連携をおこなっている。現在、医療的ケアを必要とするお子さんの支援は行っていない。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	連携が必要なケースについては、情報共有を主とした連携を行っている。了解が得られた園には直接訪問して子どもの様子を確認し、支援の在り方を一緒に検討をしている。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保護者から希望があった際や、必要と感じた場合は積極的に連携を行っている。放課後等デイサービスや相談支援事業所と共同して連携を行っている。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター主催の研修会等には積極的に参加している。必要に応じて、ケースの相談をし、助言を受けることもある。 ・事業所間の連携も行っており、子どもの共通理解に役立っている。 ・広島県東部地域の事業所が集まった協議会があり参加している。児童発達支援センターが主となって運営しており、役員会や研修にも参加し、密な連携を行っている。また、市内の児童発達支援事業所の協議会もあり、こちらにも参加することで情報共有を行い、積極的に研修参加もしている。 	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	併行通園のお子さんが大半ということもあり、特別な試みは行っていない。地域の公園等へ出かけることも多く、地域のこどもたちと交流する機会が多い。		

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を用いて日々の様子は伝えられている。また、必要に応じて電話連絡や面談等を行い、一緒に考える機会を大切にしている。 発達検査や知能検査を行い、保護者とも共通理解を深めていけるようにしている。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、保護者懇談の場をもうけており、大切だと思える関わり方についてお伝えしている。 必要に応じて個別に話しをする場を設けている。 	ペアレントトレーニング等の研修に参加して対応できるように検討していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	利用開始前の契約説明会で伝えている。年度途中から利用の方についても、契約時に書面に沿った説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	毎年、5~6月、10~11月、2~3月に個別懇談の時間を設けている。ガイドラインを参考に個別支援計画の作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	個別懇談時に支援内容の説明をおこなった後に保護者から同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	送り迎えに来られた際のお話や、連絡帳の内容等から必要と感じた際に助言等を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	ほぼ毎月、クラス懇談会をしている。今年度は年齢別懇談会を開催した。懇談会や親子行事ではきょうだい児も多く参加していただき、一緒に楽しんでもらっている。	きょうだい同士で交流する機会は設けていないが、既存の行事等を通じた交流は今後も検討したい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を用いて、日々の様子や保護者の気持ちを書いていただいている。必要に応じて保護者と連絡を取り、相談に応じている。 公式LINEを活用し、連絡網の整備だけでなく、保護者から悩みや相談を受けやすくしている。タイムリーな対応ができるよう心掛けている。 	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 隔月に「つうしん」という名の会報をクラスごとに作成し、活動報告を行っている。また、必要な情報等があれば号外を出している。 専用のLINEグループをつくっており、こまめに情報提供をおこなっている。個別でもやり取りを出来るようにしている。 月末には翌月の活動スケジュールもお渡ししている。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報は事業所から持ち出さないこととなっている。 利用開始前に、個人情報同意書の説明を行い、確認・署名を頂いている(控えを保護者も所持)。法人のホームページや広報誌に写真を掲載する場合は、再度、保護者に確認を取っている。 	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに対しては、例えば目で見て分かるような配慮・工夫を行っている。 保護者に対しては、LINEを活用してこまめに伝達をしている。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	法人として地域行事への参加を含め、法人が企画した行事等へ参加していただいている。	法人単位での行事を複数行っているため、事業所単位で行う予定はない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルの簡易版を作成しており、利用開始前にご説明し、書面をお渡ししている。 単独クラスは退避訓練をそれぞれ行っている。 	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画は作成しており、訓練もおこなっている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	利用開始前に確認をしている(フェイスシートへ記載してもらっている)。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	(同上)	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	計画は作成している。訓練については定期的におこなっており、点検もおこなっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ご家族への周知については、ご利用開始前に書面にて説明をしている。	書面をお渡しして説明もおこなってはいるが、周知とまではいっていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	法人規定のヒヤリハット報告書があり、活用している。事業所内のみではなく、法人全体の事業についても検討している。	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内には虐待防止委員会を設置しており、法人内で確認、共有出来るようになっている。毎年、法人主催の研修会に参加し、虐待防止・権利擁護・身体拘束について学習を深めている。外部の研修へも参加するようにしている。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画へ記載はしていないが、契約書・重要事項へ記載し説明を行っている。 ・虐待防止の研修と共に身体拘束についての研修も受けている。 ・身体拘束を行うケースはないものの、虐待防止の研修を行うことで理解を深めていく。 	